

会 議 概 要

会議の名称	平成27年度第3回戸田市外部評価委員会
開催日時	平成28年1月8日(金) 13時00分～14時30分
開催場所	5階 501会議室
出席者	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基 委員 引地 智宏 澁谷 久美子 地崎 由美子 西澤 和良
欠席者	
事務局	総務部 奥墨部長 今井次長 経営企画課 早川課長 西口主幹 町田副主幹 吉田主事
次第	1 開会 2 議題 平成27年度戸田市外部評価報告書について 3 市長との懇話 4 閉会
傍聴人	なし
会議の経過	別紙のとおり
配布資料	・【会議資料】平成27年度戸田市外部評価報告書(案)

議事内容

事務局	<p>1 開会</p> <p>戸田市外部評価委員会設置要綱第6条第1項「委員会は、必要に応じ、委員長が招集し、委員長がその議長となる。」の規定により、議事の進行については、佐藤委員長にお願いします。</p>
委員長	<p>2 議題</p> <p>(1) 平成27年度戸田市外部評価報告書について</p> <p>それでは、「(1) 平成27年度戸田市外部評価報告書について」に移る。</p> <p>本議題について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料に基づき、事務局から説明。</p>
委員長	<p>本報告書は、ホームページで公開されることなどを予定しているので、その観点から指摘いただければと思う。</p> <p>それでは、1 外部評価の総括 (2) 内部評価における改善点について、何か意見はあるか。</p>
委員	<p>②に「把握するために、依存しすぎることなく、当該事業が」とあるが、この文章に目的語等を追加した方が良いのではないか。</p>
事務局	<p>「市が補助金を支出している団体に依存しすぎることなく、当該事業が」という文章に修正させていただく。</p>
委員	<p>2 ページに「外部評価制度の一定の構築が図られてきている」との文章があるが、過去7回にわたり、外部評価委員会で指摘をしてきたが、過去に指摘されたことがあり、今年も指摘されていること、又は今回初めて指摘されたことはあるか。</p>
事務局	<p>過去に御指摘いただいた改善した点としては、当初は事務事業を対象として外部評価を実施していたが、施策を対象として実施すべきという御意見をいただいて、施策評価に基づく外部評価を実施することとなり、過去の御指摘が改善に生かされているものもある。</p> <p>一方で、①の指標に関する事項については、昨年度も御指摘いただいているということで、真摯に受け止めなければならないと感じている。</p> <p>また、新たに御指摘された事項としては、②の項目が該当している。</p> <p>なお、指標の指摘については、現行の総合振興計画が5か年の計画となっており、指標が固定されていることから、毎年指摘されている状態である。</p>

<p>委員長</p>	<p>外部評価制度の一定の構築が図られているということには、職員の外部評価委員会への意識の変化なども挙げることができる。実際に昨年度の外部評価委員会では、ヒアリングを積極的に生かしていきたいという部局があったことを覚えている。</p> <p>そういった観点も踏まえた上で、外部評価制度の一定の構築が図られたとする理由はどのようなものかを考えているか。</p>
<p>事務局</p>	<p>職員が外部評価を前向きなものとして取り組みつつあることが外部評価制度の定着であると考えられることができる。</p> <p>加えて、(3)の活用の部分に記載のあるとおり、内部評価を外部の視点から改めて評価するという外部評価の仕組みが確立できているということと委員に市民委員を加えるなど、様々な変遷を経て、現在の外部評価制度を構築してきたことから、制度として本格実施に移行する段階にきていると判断している。</p>
<p>委員</p>	<p>一定の構築といった場合、内部から見ると様々な手段を整えることや職員の意識改革が相当すると考えられる。一方、外部から見た場合は、昔からあった課題がなくなったということが構築されてきたという証明になる。</p>
<p>事務局</p>	<p>内部評価については、客観性のある評価に努めてきたが職員だけで行う評価では、気づけない視点もあった。しかしながら、外部の視点から内部評価に対する評価を実施することによって、客観的な意見を取り入れた評価が可能となり、職員だけでは気づくことのできなかった視点についても考えられるようになったことから、より客観的な行政評価が行われてきている。</p> <p>P D C Aサイクルを職員がしっかりと考えられるようになってきたことに加え、外部評価制度が戸田市の環境に根づいてきていることから、一定の外部評価制度の構築がなされてきたと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>事務事業評価から施策評価の外部評価となるなど、指摘を受けてバージョンアップし、現在に至っているという点を加えても良いのではないかと。</p> <p>また、職員の意識が変わってきたということであれば、その旨を記載しても良いのではないかと。</p>
<p>事務局</p>	<p>外部評価制度が試行錯誤を経た上で、現在の外部評価制度になっていることを追加させていただく。</p>
<p>委員</p>	<p>毎年度、報告書を作成してきたということであれば、過去の報告書を参考にし、文言を追加しても良い。</p>

<p>委員長</p>	<p>①について、「市民満足度など分かりやすい成果指標の設定が」は良く誤解されているのだが、評価論からすれば、市民満足度という指標は成果指標ではない。</p> <p>市民満足度という指標は、成果指標が設定しづらい時に設定されることが多いが、満足度指標というのは人間の感情や心の動きをアンケート調査などで把握するため、様々な要因で変わりやすい。満足度指標だけで評価すると危険なので、補完的なものとして位置付けていくとよい。</p> <p>したがって、成果指標が設定できないから、満足度指標を設定した方が良いというニュアンスではなく、「市民満足度などの指標も設定が必要である」という文章に訂正することが必要ではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そのように訂正させていただく。</p>
<p>委員長</p>	<p>(3) 外部評価の活用について、何か意見はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>外部評価を実施してその内容をどのように改善につなげていくのかは、今後の制度設計の上でも、大きな論点となっていくところである。外部評価報告書(案)を委員会として市長に提出するが、事務局として施策を担当している部局にこれをどのように伝えて、改善につなげていく予定か。</p>
<p>事務局</p>	<p>外部評価でいただいた御意見は行政として真摯に受け止め、それを内部評価に反映していくという形で、PDCAサイクルを構築していきたいと考えている。</p> <p>なお、事務局としても去年実施した事業の評価結果を事業改善にいかにつなげていくかということが今後の課題であると考えているが、この課題は戸田市だけではなく、全国的な課題となっているので、継続的な検討が必要であると考えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>外部評価の結果を受けて、改善につなげるということが分かりやすい形としては、予算とリンクさせることが挙げられる。</p> <p>予算とリンクさせるということは、外部評価の時期をいつやるかに大きく関わっており、予算編成の時期までには外部評価の結果もある程度は出していかなければならない。</p> <p>しかしながら、外部評価委員会で指摘している内容は、予算に関係しているものもあれば、予算に結び付けることが困難な中長期的な視点や予算を伴わないような業務レベルのものもある。予算とのリンクを図るのであれば、その意見等を整理しながら、制度設計をしていく必要がある。</p>
<p>事務局</p>	<p>昨年度、自治基本条例が制定され、市民協働でまちづくりを進めていくということで、市民活動団体関係者という枠を新たに取り入れたところであり、市民の目線からいただいた意見を予算に反映させることが必要であると考えている。しかし</p>

	<p>ながら、各事業の決定に当たっては、外部評価委員会以外の委員会等で計画を策定している経緯があるものもあるため、外部評価委員会でもいただいた意見をそのまま予算に反映させることができない場合がある。</p>
委員長	<p>行政評価は、毎年度評価を実施しており、P D C Aという形式ができているが、外部評価については、前年度評価した施策を次年度でも外部評価の対象としない限り、P D C Aのアクションを確認できない。</p> <p>そのため、アクションを確認できるようにすることが必要となるのではないか。</p>
事務局	<p>確かに現在の外部評価の形式では、前年度評価した施策を次年度以降で再度外部評価してもらうことで、アクションを確認できることとなっているので、アクションが見える仕組みを外部評価委員会や市民に対する説明責任の観点からも検討する必要があると考える。</p> <p>外部評価のアクションが見える仕組みとして、既にP D C Aが取り入れられている行政評価シートを活用して、外部評価の結果の反映についても分かるような方法を考えていきたい。</p> <p>なお、総合振興計画の指標等に関する御指摘などについては、来年度からスタートする後期基本計画に反映を予定しているところである。</p>
委員長	<p>その他、外部評価報告書全体の体裁等について、意見はあるか。</p>
委員	<p>外部評価の結果と内部評価の結果には差が生じているため、6 ページから 48 ページまでの平成 27 年度施策評価に係る外部評価シートの評価結果と行政評価シートのページの間にこの差が生じている経緯を示すようなものが必要なのではないか。</p>
委員長	<p>評価の経緯については、会議録が公表されているので、報告書と併せて見ていくという方法も考えられる。</p>
事務局	<p>会議録を添付することは、報告書の性質と合致しないため、報告書と併せて会議録を御覧いただくという方式にしたい。</p>
委員長	<p>外部評価報告書（案）については、これまでとする。</p> <p>ここで、各委員から今年度の外部評価委員会を通しての感想をいただきたいと思う。</p>
委員	<p>福祉保健センターなどの行政の協力と指導を得ながら、地域の方々と健康づくりに取り組んでおり、市民と行政の協働の重要性を感じている。</p> <p>また、普段とは異なった視点で行政の方々から事業の状況等をヒアリングできたことは大変有意義なことであった。</p>

<p>委員</p>	<p>市民活動団体として参加したということもあり、大きな責任を感じたことに加え、ヒアリングでどこまで質問をしたらよいかで悩んだところであった。</p> <p>今回、初めて参加させていただいて資源の方向性など、難しいところもあったが、市の事業を幅広く知る良い契機となった。</p> <p>今回の外部評価を通して、市の商工会等への関わり方を見直す必要があると感じた。市では商工会等に補助金などを支出しているが、単に補助金を支出しているだけで、その事業が真に必要なとされているかなどの観点からのチェックが欠如していた。市として、具体的な数値に基づいて評価するなど、その事業についてしっかりと見直しを図ることが重要であると感じた。</p>
<p>委員</p>	<p>興味を持っている事業等については、日頃から関心を持って広報等を見てきた一方で、興味の無い事業については、ほとんど見る事が無かったので、外部評価委員会を通して、興味の無い事業についても知る契機となって良かったと感じている。外部評価報告書が市のホームページに掲載されるということもあり、今後、市のホームページを見ていきたいと感じている。</p> <p>また、外部評価委員会の委員でなければ、市のホームページに外部評価報告書が掲載されているということを知ることはなかったので、市は単にホームページに掲載するだけでなく、多くの市民に見てもらえるように工夫する必要がある。見てもらえないではなく、見せるという検討をしてみても良いのではないか。</p> <p>ヒアリングについては、庁内の横断的な取り組みや協働に積極的に取り組んでいることを確認できて良かったが、どこまで質問等をして良いのかが分かりにくくて、意見がきちんと言えなかったと反省している。</p>
<p>委員</p>	<p>福祉、医療、教育などの面については、概ね問題ないように感じた。しかしながら、土地区画整理の関係については、事業に対する積極的な姿勢が見て取ることができたが、少し不明瞭な点があった。</p> <p>外部評価ヒアリングを通して、戸田市の財政状況が非常に厳しい状況であることが分かるなど、戸田市を知る良い契機となった。</p>
<p>委員長</p>	<p>以上で、議題を終了させていただく。</p>
<p>事務局</p>	<p>3 市長との懇話</p> <p>それでは、(3) 市長との懇話に移る。</p> <p>はじめに、市長から一言お願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>外部評価委員の皆様には、長期間に渡りヒアリングや審議をしていただき、感謝申し上げます。</p> <p>「外部評価制度」は、職員が行った内部評価を様々な分野で御活躍の皆様へ評価していただくことで、適正な内部評価の実現による透明性の確保や評価・管理</p>

	<p>できる人材の育成を目的として実施しているものであり、より適切な行政運営に資するための重要な制度である。</p> <p>今年度の外部評価委員会は、これまでの試行運用に加え、協働の視点の強化に取り組んでおり、皆様それぞれの立場から、多角的な御意見をいただけたと報告を受けている。</p> <p>ここでいただいた貴重な御意見を市として真摯に受け止め、市民サービスの向上につなげていきたい。</p> <p>本日は、外部評価委員会から直接、御意見をいただけるということで楽しみにしている。</p>
事務局	<p>それでは、外部評価委員会を代表して、委員長である佐藤様から御意見・御感想をいただきたい。</p>
委員長	<p>本年度の外部評価委員会は、委員 6 名のうち、初めて外部評価に関わる方が、3 名で公募市民委員の方 2 名と市民団体の方 1 名である。市民委員の方においては、外部評価という慣れないことで、様々なことに苦慮したと聞いている。</p> <p>苦慮した内容としては、行政の活動を評価するときに成果をどのように評価したらよいのか、内部評価と外部評価の関係性、市民の方々がどこまで担当部局の方に質問していいのかなどが挙げられていた。</p> <p>外部評価ヒアリングの内容については、福祉や教育については、概ね良かったとの意見があった一方で、商工会等への補助金の問題を市がきちんと把握していくことや土地区画整理の説明が不明瞭であったということがあった。</p> <p>外部評価委員会の実施については、戸田の外部評価は今年度で試行実施として、7 年目となり、本格実施をしても良いタイミングではないかと感じている。外部評価の本格的な実施をする際は、外部評価の目的や位置付けをはっきりとさせ、行政経営の仕組みづくりを構築していくことが求められる。</p> <p>既に行政の基幹システムとして計画・人事・組織・予算とあり、評価は最後に構築されたところであるが、総合計画、予算編成、人事、組織とうまくかみ合わせて、マネジメントシステムを構築していく必要がある。</p> <p>行政における課題は様々あるが、積極的に取り組んでいただきたい。</p>
市長	<p>外部評価制度については、8 年間の蓄積があるので、本格実施に向けてこれからしっかり取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>本市は外部評価委員会だけでなく、様々な委員会においても市民に参加していただくなど、行政運営に市民の意見を取り入れることができるよう、市民との協働を積極的に行っている。さらに、市民との協働だけでなく、部局横断的な市役所内の協働にも取り組んでおり、様々な問題を解決するため、組織横断的に取り組めるように組織体制の構築を図っていきたい。</p> <p>また、外部評価ヒアリングは、これまで気づけなかったことに気づけるなど、職員の勉強の場にもなっており、客観的な評価につながるだけでなく、職員の能</p>

	<p>力の向上にも寄与している。</p> <p>今、御指摘いただいた点に加え、外部評価報告書に記載されている御指摘についても、しっかり対応していきたいと考えている。</p>
委員	<p>行政運営に当たっては、無駄が無いよう組織横断的な取り組みを進めていきたい。</p> <p>また、行政はホームページ等で行政に関する情報を発信しているが、発信して終わるのではなく、受け手側に見ていただけるような、工夫が必要であると感じる。</p>
市長	<p>情報の発信については、「なるほどわかった戸田市の財政」などを発行して、市民にも読まれやすいように取り組んでいるところであるが、まだまだ積極的な情報発信に取り組める余地がある。</p> <p>ホームページ等で情報をただ発信するだけでなく、市民の方に見てもらえるような工夫と市民に理解していただけるように更なる情報発信に努めていきたい。</p>
委員	<p>土地区画整理事業や駅周辺整備事業の実施についても、工夫して取り組んでいただき、市民が生活しやすい、より良いまちづくりをしてほしい。</p>
市長	<p>土地区画整理事業や駅周辺整備事業については、地権者交渉やまちづくり協議会を設けるなど、一つひとつの合意を取り付けながら進めているところである。</p> <p>今後も市民の合意がなるべく得ることができるような形で事業を進めていきたい。</p>
委員	<p>戸田市は健康寿命が短いので、財政的な観点からも健康な人が多いまちづくりを進めてほしいと考えている。健康寿命を伸ばすに当たっては、福祉部だけでなく、教育委員会などと連携を取りながら、取り組んでほしい。</p>
市長	<p>戸田市の健康寿命を延ばすことは、大きな課題である。</p> <p>埼玉県では、65歳以上の方が要介護度2になるまでを健康寿命と言っているが、3年前の戸田市は63市町村のうち、最下位だった。それから、健康づくりに取り組み、徐々にではあるが、改善の兆候が見えてきた段階である。今後も積極的な健康づくりに努めていきたい。</p>
事務局	<p>以上をもって、市長との懇話を終了とする。</p>
事務局	<p>○事務連絡</p> <p>本日、委員皆様に議論をしていただいた内容を反映させたものを正式な外部評価報告書として、市長に提出させていただきたいと考えている。</p> <p>内容を反映させた正式な外部評価報告書の決定に当たっては、佐藤委員長に一</p>

委員長	<p>任したいと考えているが、委員長いかがか。</p> <p>また、外部評価シートに追加したい意見等については、平成28年1月15日(金)までに御報告いただくよう、お願いする。</p> <p>了</p> <p>4 閉会</p>
-----	---